

---

## NEWS RELEASE

---

# デジタルガレージ、国際的インキュベーション事業を始動 ～米国戦略子会社を設立し、第1弾として 世界を代表するアジャイル開発会社2社と買収で合意～

---

株式会社デジタルガレージ(大証 JASDAQ4819、本社:東京都渋谷区、代表取締役/グループ CEO:林 郁、以下:DG)は、グローバルな視野に立った、スタートアップ企業のインキュベーション(育成)事業を本格的に始動しました。その第1弾として、アジャイル開発と Lean Startup で世界的に著名な、Pivotal Labs(Singapore) Pte. Ltd.(以下:Pivotal シンガポール社)と米 EdgeCase, LLC(以下:EdgeCase 社)を買収することで、Pivotal シンガポール社の親会社である米 Pivotal Labs 社および EdgeCase 社、並びに同社経営陣とそれぞれ合意しました。買収は米国で設立した Digital Garage US, Inc.(本社:米国カリフォルニア州サンフランシスコ市、以下:DGUS)の完全子会社である米 New Context, Inc.(本社:米国カリフォルニア州サンフランシスコ市、以下:NC)を通じて行います。今後 NC はインキュベーション機能を担う戦略会社として、グローバルな視野で事業を拡大させていく予定です。

NC の特徴は、世界でも屈指の開発レベルを有しながらもこれまではアウトソーシングだけを担ってきた複数のソフトウェア開発会社をネットワークし、DG のインキュベーションノウハウを付加することにより新たな付加価値を生み出す点にあります。言い換えると日本で成功してきた DG のインキュベーション事業を、シリコンバレーをはじめとした海外市場に拡大し、グローバルにスケールさせていくことを狙います。いわば「インキュベーション 2.0」ともいえる戦略プロジェクトです。「今回 DG グループに参画する 2 社はいずれも、デザインと実装において商用化のリスクを最小限にとどめる手法において、すでに十分な実績がある。DG がこれまで培ってきた経営とファイナンスのノウハウにこれを加えることによって、ソフトウェアをデザインし、開発してプロダクトに仕上げるという一連の工程を大きく改善することができる」と考えている(NC 社 President 兼 DG グループ CTO Ian McFarland)。

NC を中核とした今回のプロジェクトは、Open Network Lab を通してすでに着手している日本から世界市場を目指すスタートアップ企業を支援する「エクスポート型」のインキュベーション事業と、世界から日本市場を目指す「インポート型」のインキュベーション事業の双方でボトルネックとなっていた、ソフト開発工程のプラットフォームとなります。DG が目指す最終的な目標は世界のインターネット業界において次の勝者となる有望なスタートアップ企業を、IT(Information Technology)、FT(Financial Technology)、MT(Marketing Technology)の側面から、DG のエコシステムを挙げて育成することにあります。

今回の発表についてコメントを以下の通りいただきました。

「New Context 社はソフトウェア開発を革新し、新しいレベルに高める可能性を秘めている」(Twitter, Inc. と米 Obvious Corp. の共同創業者でもある Biz Stone 氏)。

「Lean Startup の原則を軸に据えデザインとソフトウェア開発をサポートする会社が誕生することを喜んでいる」(Lean Startup の提唱者である Eric Ries 氏)

## **NEWS RELEASE**

### 【アジャイル開発とは】

ソフトウェアの開発と検証を週単位で繰り返すことで、開発効率を高める手法。

### 【Lean Startupとは】

アジャイル開発に顧客からのフィードバックを組み込むことで、顧客を開発することを特徴としたサービスの開発手法。市場性が未知数のサービスを効率よく開発するために考案された。

### 【DGUSについて】

世界を舞台とした事業を本格的に立ち上げることを目的に2011年7月に設立したDGの完全子会社。サンフランシスコに拠点を置く。